

谷町九丁目駅

Osaka Metro まちさんぽ

60分 コース

谷町線・千日前線 谷町九丁目駅

近松と西鶴が眠るまち

先人の偉業を偲ぶ谷町の寺社めぐり

ここは上町台地の中央部、難波高津宮と生國魂神社という古代の大阪を物語る古社の周辺には、近松、西鶴、豊竹若太夫、中村鴈治郎ほかの大阪の文芸や舞台の歴史を彩った偉人たちが眠ります。



スタート駅

約 60 分

ゴール駅

谷町線
千日前線
谷町九丁目駅
④号出口

- 1 服部良一歌碑
- 2 井原西鶴墓
菅原寺
- 3 中井一族の墓
熊野街道
- 4 東平野町筋道標
近松門左衛門墓所
- 5 豊竹若太夫墓
本経寺
- 6 高津宮高津神社
- 7 初代中村鴈治郎墓
梶井基次郎墓
常国寺
- 8 生國魂神社

谷町線
千日前線
谷町九丁目駅

戦前には、淡谷のり子の『別れのブルース』『雨のブルース』、霧島昇・渡辺はま子の『蘇州夜曲』、霧島昇の『一杯のコーヒーから』、高峰三枝子の『湖畔の宿』。戦後には、笠置シズ子の『東京ブギウギ』『買物ブギ』、そして藤山一郎の『青い山脈』と、すべて東平小学校出身の服部良一の作曲です。

新型コロナウイルス
感染拡大防止のために

●体調が優れない場合のご参加はお控えください。 ●マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。
●混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお参加ください。

先人の偉業を偲ぶ谷町の寺社めぐり

ここは上町台地の中央部、難波高津宮と生國魂神社という古代の大阪を物語る古社の周辺には、近松、西鶴、豊竹若太夫、中村鴈治郎ほかの大阪の文芸や舞台の歴史を彩った偉人たちが眠ります。

スタート駅

約 60 分

ゴール駅

谷町線・千日前線谷町九丁目駅④号出口

谷町線・千日前線谷町九丁目駅

1 服部良一歌碑

作曲家・服部良一は、昭和の初めに最先端のジャズのリズムを取り入れて数々のヒット曲をとばした「日本ポップスの父」です。手がけた楽曲は、3,000曲を超え、平成5年(1993)に他界したあと国民栄誉賞を受賞しました。母校の東平小学校跡地(現グラウンド内)に「青い山脈」の楽譜が彫られた歌碑があります(フェンス外から見えます)。



2 誓願寺・井原西鶴墓・中井一族の墓

江戸時代の文豪・井原西鶴は、寛永19年(1642)に大坂の商家に生まれ(紀伊中津村説あり)、俳人として有名になりました。生玉本覚寺で1,600句、生國魂神社で4,000句、住吉大社で23,500句もの独吟興行を行い、矢数俳諧の第一人者になりました。その後『好色一代男』を発表してベストセラーになり『好色五人女』『好色一代女』などの好色ものや『日本永代蔵』『世間胸算用』などの町人もので、大坂の人々の生きざまを赤裸々に描いた傑作を書きました。また、誓願寺には大坂商人の精神を説いた学問所「懐徳堂」を創設した中井一族の墓があります。



3 熊野街道 東平野町筋道標

このあたりは明治時代に東平野町と呼ばれていてこの道標名が生じました。「右ハ 八けんや みち」左ハ てん王うじ」などの文字が見られる道標です。現在、熊野街道に比定されている道は2筋西にあります。



4 近松門左衛門墓所

近松門左衛門は元禄時代に大坂で活躍した浄瑠璃作家で、『曾根崎心中』『心中天の網島』『女殺油地獄』といった義理と人情の葛藤を描いた世話ものや心中もので人気を博しました。人間性のリアルな表現は「日本のシェークスピア」と称えられています。当地にあった法妙寺に墓がありましたが、寺は大東市に移転し、国の史跡指定を受けていた近松の墓だけが現地保存されました。



5 本経寺・豊竹若太夫墓

豊竹若太夫は竹本義太夫と並び活躍した浄瑠璃の太夫です。若太夫の「豊竹座」と義太夫の「竹本座」が競い合って大坂で浄瑠璃が発展しました。この2派はのちに融合しあって現在の浄瑠璃の節回しになりました。



6 高津宮(高津神社)

祭神は仁徳天皇で、貞観8年(866)に清和天皇の勅命により記紀に書かれている高津宮の遺跡が探索されて、現在の大坂城付近に社殿が築かれたとのことです。その後、秀吉が築城に際してここに遷座しました。記紀にある高津宮の場所は諸説あって不明です。また、5代目桂文枝の記念碑が古典落語『高津の富』の縁で境内にあります。



7 常国寺・梶井基次郎墓・初代中村鴈治郎墓

小説『檸檬』で有名になった梶井基次郎の墓があります。梶井は明治34年(1901)西区土佐堀通で生まれ、肺結核のために31歳で天逝しました。また、近代上方歌舞伎を代表する初代中村鴈治郎(林玉太郎)の墓があります。鴈治郎は上方歌舞伎の和事(男女の恋)を演じると天下一と評され、近松もって人気を博しました。



8 生國魂神社

神武天皇が東遷で難波津に上陸した際、国土の神霊とされる生島神、足島神を祀ったのが創始と伝えられる由緒ある神社です。生國魂造といわれる他に類のない建築様式でも知られています。ここで独吟4,000句を興行した井原西鶴の像があり、元禄期にここで小咄を始めて上方落語の祖とされる米沢彦八の碑があります。毎年9月に上方の落語家が集まって「彦八まつり」が開催されます。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2022年7月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄

